

令和6年11月17日 南西二区にて 認知症高齢者見守り声かけ訓練を行いました

「見守り声かけ訓練とは」

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、地域全体での見守りが大切です。認知症によって「自宅が分からなくなった」「歩いているうちに道に迷ってしまった」といったことが起こることがあります。遠くに行ってしまう前に早期発見し、見守り声かけを行える体制を築くことで、みんなが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

芹川・巣之浦地区いきいきサロンチームオレンジリーダー橋口さんを中心に認知症高齢者役は南西二区区長大山さん、サロン代表の田代さんになって頂き、小林秀峰高校・小林看護医療専門学校の生徒さんも参加してくれました。



参加者の声

- 地域の皆さんの声かけが、どなたも穏やかで優しく、素晴らしかったです。あたたかい地域で長く過ごしていただきたいと思います。
- もっと地区住民の方が参加してくださればと思います。
- 難しかったけれど、とてもいい学びになった。



認知症サポーター養成講座



「認知症サポーター」とは・・・

認知症について正しく理解し、地域や職場で認知症の人やその家族を温かく見守り、寄り添い、支え合う応援者になります。認知症の理解を深め、認知症になっても安心できる地域を目指しましょう。

12月2日現在の小林市における認知症サポーター数：14,937人
今年度の目標の15,000人まであと少しです。



西小林小学校



西小林地域



永久津中学校



北部民生委員児童委員協議会



西ノ原いきいきサロン



西部民生委員児童委員協議会

養成講座を受けての感想

- これまで他人事と思っていたが、今日の研修を受講し、自分自身のことと受け止めました。
- 職場の研修等でこういう内容の研修があるといいなと思いますね。

(小中学生の感想)

- 認知症の方々に、よりそってあげたい。
- ぼくは認知症の人にやさしくこえかけをしたいと思った。
- ひいおばあちゃんも認知症なので正しい接し方ができるように気をつけたいです。

【問い合わせ先】

小林市地域包括支援センター： 25-0707

のじり地域包括支援センター： 44-2271

小林市西部地域包括支援センター： 27-2552

